講義名	教養基礎（歴史）				
科目区分	教養科目				
担当教員	藤原　喜美子／小野　達哉／辻　美代				
開講期・曜日・時限	後期集中 その他 その他				
	2014年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科／2014年度 サービス産業学部 観光学科／2014年度 総合政策学部 総合政策学科／ 2014年度 商学部 商学科／2013年度 サービス産業学部 サービスマネジメント学科／2013年度 サービス産業学部 観光学科／ 2013年度 総合政策学部 総合政策学科／2013年度 商学部 商学科／2012年度 サービス産業学部 サービスマネジ				
履修開始年次	１年生	単位数	2	講義コード	73001

主題と概要

20世紀は、それまでの歴史とは比較にならない２つの世界大戦を始めとする幾多の戦争があった。21世紀に入った現在もそのような時代を引きずっているようである。そして、こういえるのは、20世紀以前の歴史を学び知っているからである。そもそも歴史を学び知るということは、未来の動向も探り得るように、我々の生きている現在の社会・経済・政治・文化等の動向をできるだけ的確に知るためである。この講義では、古代から現代までの歴史（日本史・アジア史・西洋史）を、それぞれの地域のそれぞれの時代の特性が分かるように概観する。

また、この講義は「教養基礎」としての性格から、高校で学んだ日本史・世界史から「教養展開」の日本史・アジア史・西洋史・現代世界史の各講義への橋渡しの役割を持つものである。

到達目標

歴史に関する基礎が復習でき、就職試験のための知識を身につけることができる。

提出課題

講義で学んだ内容を毎回、テストまたはレポートとして提出してもらう。

評価の基準

成績は、各時間に行うテストまたはレポートを集計し、100点満点で評価する。評価の配分は、アジア史30点（辻）、西洋史30点（小野）、日本史40点（藤原）とする。

履修にあたっての注意・助言他

安易な気持ちで講義に出るのではなく、その都度の講義の内容をしっかりと聞き、その場で理解し、その都度の講義の内容は、いつ試験があっても出来るようにきちんと覚えるように復習する。なお、それぞれの基礎となる事柄は、プリントとして手渡すので、講義で触れないことでも、プリントに書かれていることは講義の内容として試験の対象となる事を忘れないこと。

教科書

.<教科書>　講義はプリントを中心で、テキストは使用しない。.

プリント資料及び参考文献

<プリント資料及び参考文献>

必要に応じて講義の展開の過程で提示することもあるが、高校の世界史・日本史の教科書は重要な参考文献となる。

授業計画

１．日本における古代（藤原）
２．日本における中世（藤原）
３．日本における近世（藤原）
４．日本における近代（藤原）
５．日本における現代（藤原）
６．古代ヨーロッパ（小野）
７．中世ヨーロッパ（小野）
８．近代ヨーロッパ（小野）
９．現代ヨーロッパ①（小野）
10．現代ヨーロッパ②（小野）
11．アジアの古代（辻）
12．アジアの中世（辻）
13．アジアの近代（辻）
14．アジアの現代①（辻）
15．アジアの現代②（辻）

予習・復習

予習と復習については、講義時に各教員から指示する。

備考

この講義は、３名の教員によってオムニバス方式で実施する。